



JCHO 湯河原病院 地域連携だより



星地院長 メッセージ



院長
星地 亜都司
せいち あつし

JCHO湯河原病院 高取吉雄院長の後任として4月より着任いたしました、星地 亜都司(せいち あつし)と申します。長らく脊椎外科医として、手術を中心として診療に携わり、コンピュータ支援手術、顕微鏡下手術等を年間300件近く行いながら、一方で都内の病院の副院長として執行部業務にも関わってまいりました。

ご縁あって当地に家内ともども暮らしてゆくことになりました。着任前より、湯河原や周辺の散策を行い、前院長の教えを請いながら、当地の医療の状況をひとつひとつ頭に叩き込んでいる最中です。

地域連携の重要さは、これまでの経験から十分身に染みており、足りないところを少しでも克服して、Win-winの関係をより構築できますよう尽力してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新任医師を紹介いたします

整形外科



しもかわ よしき
下川 純輝

- ①東京大学
- ②2018年
- ③整形外科一般
- ④整形外科専門医
- ⑤アメフト観戦
- ⑥精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします

内科



やまぐち よしこ
山口 佳子

- ①東京女子医科大学
- ②2009年
- ③総合診療
- ④日本内科学会、総合内科専門医
日本プライマリーケア連合学会
家庭医療専門医・指導医
日本医師会認定産業医
- ⑤日本画、ガーデニング、犬
- ⑥地元神奈川県で働けることを大変嬉しく思います。大学病院が長いですが伊豆大島に赴任していたこともありました。

防災訓練を行いました

夜間の火災を想定し、防災訓練を実施しました。訓練ということもあり、落ち着いて行動がとれていました。しかし実際に災害が起きると慌ててしまい、落ち着いて行動できないことも予測されるため、日頃から避難経路や、それぞれの行動について確認しておくことが大切です。



当院看護師が、能登半島地震の災害派遣に行きました

震度6強を観測した公立穴水総合病院へ災害派遣させて頂きました。断水が続いており、配管も破損しているために流すこともできず、トイレや入浴、洗濯などまだまだ不便な状況でした。避難所でもコロナが蔓延し、感染対策に限界を感じながら不安な日々を過ごされていました。医療を提供する側も被災者であり、地域住民の方々との会話の中では労りや思いやりが垣間見え、人と人の繋がりの大切さを実感しました。町ぐるみで災害に備えることが重要です！さあ準備を始めましょう！



感染管理認定看護師 寺見 加保里

患者総合支援センター長 田部井康浩看護部長

地域医療連携室も
メンバーが変わりました！！

4月1日付けでJCHO湯河原病院の看護部長・患者総合支援センター長を拝命いたしました。当院は、JCHOの使命である地域医療・地域包括ケアの要となる、地域に根ざした病院として患者さんを支え、そのご家族の支援を行っています。

また看護部理念「そのひとの思いに寄り添い、信頼にこたえる温かい看護」を実践し、地域貢献に注力しています。そして、急性期から回復期、在宅復帰の各ステージで切れ目のない医療・看護を提供できるよう、職員一同努力しております。

これを継続するため、地域の保健医療福祉を担う方々と密接に連携することが重要であると認識し、地域医療連携室が活動しております。風通しの良い関係を目指しておりますので、色々ご相談、活用していただけると幸いです。これからも安心・安全な地域作りを、医療・看護の立場から貢献できるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医事会計業務を3年経験し、この度地域医療連携室へ異動となりました。まだわからないことだらけですが、医事での経験を活かして皆様の力になれるよう頑張ります。

木庭大登（事務）



～今年度もよろしくお願いたします～

（発行元）〒259-0396

神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-6

独立行政法人地域医療機能推進機構 湯河原病院 患者総合支援センター 地域医療連携室

TEL 0465-63-2211/FAX0465-63-8601

メールアドレス chiiki@yugawara.jcho.go.jp